

授業改善等に関する報告書（2025年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
福祉社会学	山根 純佳	授業の進捗度の適切さについて回答のばらつきがあったので、より適切な進捗を心がけたい。
質的データ分析	山根 純佳	説明がわかりにくかったとの回答もあったので、全員が理解できるように工夫したい
心理学実験Ⅱ	粟津 俊二	総合的な満足度が4.8と高いため、授業運営に問題はなかったと判断します。
心理学的支援法 木曜配信 (渋谷)	富田 望	さまざまな心理療法について学び、レスポンスや事後学習の課題では、自分の生活を振り返ってみたり、事例について主体的に考えていただきましたね。アンケートでは、生活に役立つ知見が得られたという意見をいただき、大変嬉しく思いました。半期の受講、お疲れ様でした。
応用心理学 火曜配信 (渋谷)	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。全体平均・当該区分平均より肯定的な結果となり、皆さんのご期待に沿ったことを嬉しく感じています。本科目はオンデマンド授業でありながら、対面の臨場感を再現するため、動画を中断して自分の意見を回答してもらう時間、QRコードを用いてそれぞれのデバイスで動画視聴、ワークなどを取り入れました。また学生-教員間のコミュニケーションをとるために入念なフィードバックを行いました。それゆえ通常のオンデマンド授業よりもアクションが多かったと思います。ご協力をありがとうございました。皆さんのコメントを参考にして次年度以降もよりよい授業を目指します。
心理学統計法 木曜配信 (渋谷)	粟津 俊二	総合的な満足度が4.5と高いため、授業運営に問題はなかったと判断します。
健康・医療心理学	竹内 美香	<p>国家資格・公認心理師の学部における受験資格要件科目です。発達を含む健康心理学の基本と医療・福祉の行政に関連する情報の両面に配置して科目内容を構成しました。それぞれ「入口」的で概論的になりました。今後、この領域での実務を目指す方は、さらに学ぶべき事項が際限なく広がりますので、そのことはお覚えください。</p> <p>今期は主に「患者力」の実情をお話しする機会が多くなりました。ご紹介した事例はある程度の「地図」として、皆さんそれぞれが今後の生活場面で、ご自身のため、周囲の大切な方のために活用してください。</p> <p>専門家のお手本としてお招きした産婦人科専門医のドクターの講義からは、女性としてどのように生きるか、再考する機会を得たと思います。</p> <p>人生のそれぞれの「季節」に、この科目を学んだ「あなた」が、考えをめぐらせて、幸せを自ら追究してくださることを祈っています。</p> <p>毎回のWS提出、お疲れさまでした。枠だけに捕らわれず、次第に自由な記述展開が見られるようになったことをとても心強く感じていました。</p> <p>今期、単位認定できなかった履修者の方もいますが(例年どおりの率です)。単位認定した方の提出率がほぼ100%でしたので、履修者全員の公平性を担保する担当者の責務からの判断となります。ご理解ください。</p>
感情・人格心理学	竹内 美香	<p>この科目では、人格を記述する研究史を紹介することから始めて、パーソナリティ形成に関わる発達の説明、文化人類学的アプローチ、社会心理学・認知心理学的視点からの説明フォーマットなどを紹介して来ました。精神科診断基準として現行のDSM-5TRも看過できない事項です。</p> <p>個々の人間の(特に対人社会的文脈における)行動傾向は、個別的・個体的な生理現象を含む感情反応とも連合します。感情研究とパーソナリティ研究を1つの科目にまとめてしまう国資格の方針に違和感は禁じ得ないものの、資格基準に従いこの科目は実施されてまいりました。</p> <p>標準的な内容に加え、時折、大学生の進路活動(就職活動)やライフプラン、アイデンティティの課題にも触れました。それぞれが「あなた」の考える機会になっていれば幸いです。</p> <p>講義担当者、今期は大きな治療後の復帰という条件下での科目実施となり、皆さまには遠隔+対面環境への適応をお願いいたしました。寛容なご対応への感謝、ここに記します。</p>
障害者・障害児心理学	富田 望	アンケートをみると、グループディスカッションを通して、障害とともに暮らす方々の困難さや必要な支援について各自が自分ごととして考え、お互いの意見を聞きながら学びを深めることができていたようですね。1限の授業で大変だったと思いますが、皆さん集中して頑張っていたと思います。お疲れ様でした！
フィールドワーク論	高橋 美和	数値的にはどの項目も平均的でありました。個人ワーク、グループワーク共に多いアクティブ科目でしたが、みなさんよくついてきてくれました。インタビューの仕方、フィールドワークの意味、観察力、それぞれのコメントをありがとうございました。実りある学習になったようで、何よりです。
都市フィールドワーク論	原田 謙	総合的な満足度は4.85点であり、本科目の内容と方法についてもすべて4.8点以上でした。今後の3年ゼミや卒業研究で、身につけた質的分析方法を活かしてください。

〔2025（後期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
メディア心理学	駒谷 真美	<p>まず「メディア心理学」がアンケート全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価を得て、履修した学生たちの育ちに役立てたこと、心より嬉しく思っている。教員として今後の励みとしたい。</p> <p>履修生たちは第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。乳児からシニアまで発達段階に応じたメディアの理論と様相について、responのイントロ・ブレイクアンケートやリフレクションシートを一生懸命に考えて回答してくれていた。特に、NHKのEテレ番組「いないいないばあっ！」に携わっておられた久保氏と子どものメディア意識行動を調査されている渡辺氏のご講演を元に、子ども番組の意義について課題を出した結果、両ゲストからも高い評価を得ていた。</p> <p>この講義を通して学んだメディア情報リテラシーを糧に、不確実性時代（VUCA）を生き抜いていってほしい。</p>
アジア文化論	高橋 美和	<p>東南アジア地域の情勢、社会全般、文化、宗教について学ぶことができた、とのコメントを多数いただきました。よかったです。異文化への関心の芽を今後も育んでいただけることを期待します。アンケートの数値としては、ご自分の成績評価を低く見積もる方が多いことに目がとまりました。知識の定着を見る「テスト」に対するアレルギーがあるのかな？と思いました。いろいろと知ることは楽しいことなので、テストを過度に恐れないようにしてくださいね。</p>
メディア表現	駒谷 真美	<p>この講義は、まず履修生はプロの動画クリエイターからワークショップで指導を受けスキルを体得した。中盤で本学生涯学習センターのレクチャー「シニアのための初めての動画づくり」では履修生自らがファシリテーターとして積極的に参加し、シニアたちから高評価を得た。その後は4チームに分かれてプロジェクト「下田歌子記念女性総合研究所のインスタのピロッド版制作」を遂行した。</p> <p>このプロジェクトを体験した履修生たちが、自己成長度・学習発展度・自己評価度・満足度・意欲度全てにおいて自分自身を高く肯定してくれたことが何よりである。</p>
人体の構造と機能及び疾病 月曜配信（渋谷）	塩川 宏郷	<p>解剖学・生理学・病態生理学に関する基礎的な内容を学習しました。机上の図譜だけだとなかなか理解が難しいかもしれませんが、ネット情報も利用して知識を広げていって欲しいと思います。</p>
会計学総論Ⅱ	蔦 飛鴻	<p>履修者18名のうち、3名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は4.00となっております。履修者全員に満足できるような講義ができるよう、今後、講義内容の見直しをしていきたいと考えております。ご回答をどうもありがとうございました。</p>
行動経済学	角本 伸晃	<p>初めて開講された科目ですが、「13. この科目（系・分野）をさらに学びたいと思いませんか？」で4.53と全体平均4.21より高い数字となり、履修者に興味を持ってもらえてうれしいです。</p> <p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」も4.53でした。</p>
現代日本経済論	角本 伸晃	<p>現代日本経済のトピックスを中心にいろいろな分野を取り上げる科目なので、各回頭の切り替えが必要だったため、</p> <p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.19と当該区分平均4.42を吸い越し下回りました。</p> <p>引き続き、ためになるトピックスを取り上げて、わかりやすい授業を心がけたいと思います。</p>
会社法	神山 静香	<p>アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。シラバスとの整合性、授業のスピード、説明のわかりやすさ、双方向授業への工夫等、多くの項目で肯定的な評価をいただき感謝申し上げます。新しい知識が増えたことを実感していただけた一方で、「さらに深く学びたいか」という項目については、改善の余地があると考えております。実例に基づく丁寧な説明により理解が深まったとの評価をいただきましたので、この強みを活かしつつ、内容の充実を図ってまいります。学生の皆様が「授業で学んだ知識をどう将来につなげるか」を具体的にイメージできるような内容とし、より主体的に興味を深められるよう工夫してまいりたいと思います。</p>
地域経済論 木曜配信（渋谷）	角本 伸晃	<p>「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.50と当該区分平均4.42を少し上回りました。</p> <p>次年度は減コマで非常勤の先生に担当が変わります。</p>
行政法 水曜配信（渋谷）	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の授業展開の参考とさせていただきます。</p>
原価計算論	蔦 飛鴻	<p>履修者29名のうち、7名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は4.57となっております。履修者全員に満足できるような講義が継続できるよう、今後、随時講義内容の見直しをしていきたいと考えております。ご回答をどうもありがとうございました。</p>

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
現代企業論	吉田 雅彦	<p>総合満足度 たいへん満足 どちらかといえば満足 計98.1%は、経験がなく、嬉しいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業理念が自分の価値観とマッチするの考えるようになった。 ・授業を通してそれぞれの業界への理解が深まり、就活準備として最適な授業だった。 ・自分自身で企業研究をする力が身についた。 ・復習からしてくれたので、授業の内容を理解しやすかった。 ・進んで調べることはなかったらもうなという業種についても学ぶことができ、視野が広がった。 <p>などの感想をいただいたことは嬉しいです。</p> <p>Q:本を読んでからレスポンスを提示して次に行くまでが早すぎて、内容を理解する時間が少なく感じた。 については、出席者の9割の学生が回答するまで待っていますので、1割の人には早いと思います。しかし、9割の学生が待つ時間をこれ以上増やすのは難しいので、がんばってついてきて欲しいです。</p>
消費者心理学	井上 綾野	<p>消費者行動は、普段のみなさんの行動を理論化したものであることがわかっていただけたらよかったです。複雑なモデルもしっかりと理解していて、とてもよかったです。</p>
国際企業論	吉田 雅彦	<p>総合満足度 たいへん満足 どちらかといえば満足 計88.9%は、高度なビジネスの授業内容としてはまあまあかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の仕組みや裏側を学ぶことが出来て有意義な時間でした。就活で大手を狙う人におすすめしたい講義です。 ・世界の状況について学ぶことができた。コマツ、資生堂、日立建機の違いについても学ぶことができた。世界の宗教などについても学ぶことができ、日本だけではなく、世界全体を広く見て考えることができた。世界の宗教についての理解が深まった。間接輸出・直接輸出・ライセンスといった言葉の意味を理解することができ、国際企業について詳しく学ぶことができた。職種などについても理解が深まった。 ・マーケティングやビジネスに関して関心があったため履修することにした。が、理解が深まるとともにより一層興味がわいた。経験談を踏まえた先生のお話は非常に興味深く、海外で働くということを身近に感じられるきっかけとなった。 ・先生の体験談が多く、机上の学びというより理解しやすく興味が湧いた。自分の職業にどうグローバルな慣習や対応が関わるか不明だが、先生が仰っていたことを思い出し、社会人になりたい。などの嬉しい感想をいただいた。
国際ビジネスと法	神山 静香	<p>アンケートへのご協力ありがとうございました。授業の内容と方法について、シラバスとの一致、授業のスピード、説明のわかりやすさ、双方向授業の工夫等、多くの項目で肯定的な評価をいただき感謝申し上げます。一方で、「自分自身での成績評価」の項目については、今後の改善課題であると考えております。実践的な視点をより多く取り入れることで学んだ知識をどう活かすかをイメージでき、学生の皆様自身が知識の蓄積や成長を実感しながら、より主体的に探究心を深められるよう、授業構成や内容の充実を図ってまいります。</p>
国際経済論	吉田 雅彦	<p>総合満足度 たいへん満足 どちらかといえば満足 計87.4%は、「幅広く学んだ為、難しいと感じることも多くあった。」という簡単ではない授業内容としてはまあまあかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の経済状況についての理解が深まった。世界の戦争についてもどういった時期にどういった戦争が起きていてその結果どうなったのかといった詳しいところまで理解することができた。経済事情とグローバル化後の経済事情の変化について詳しく学ぶことができたし、理解が深まった。ゲーム理論についての理解が深まり、どういった例があるのかを考えるのは難しかったが、楽しかった。世界情勢に触れながら経済のことについて知ることができたのは良かった。 ・経済に関する国際的な事情や歴史などを学び、どう影響を及ぼすのか理解する力が身についた。 ・日本と世界の経済がどのような状況なのか理解が深まった ・国際経済についてニュース記事などを通してどんなことが問題となっているのかを考えることができた。 <p>という感想をいただいたことは嬉しいです。</p> <p>Q:席指定する意味をはじめに説明願います。という質問がありました。授業中に2,3人のグループワークをするので、グループを固定して、ディスカッションを深めるためです。</p>
情報と職業	板倉 文彦	<p>授業評価は概ね平均値を上回っていましたが、双方向授業に関する質問は平均値を下回ってしまいました。本科目は講義系科目ですが、授業内ではrespon等を使用して可能な限り双方向で意見を聴取することに努めてきましたがまだ不足していることを痛感しました。この点は次年度にまた改善していきたいです。</p>

〔2025（後期）人間社会学科 現代社会学科〕 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
マルチメディア処理	伊藤 綾香	概ね全体平均を上回っており、学生からの良い評価をいただけたと理解している。引き続き学生の学びに資する授業を展開していきたい。
デザイン思考とデータ活用	竹内 光悦	半期でしたが、前半、後半と大変だったかもしれませんが、成長につながったようでしたのでよかったですと思います。これからも頑張ってください。
メディア・ワークショップ	田中 瑛	この授業では、対話を必要とする社会課題を自分たちで考え、対話を促すためのメディアを自分たちで設計・制作し、展示しました。最終的に出来上がった作品はどれもそのトピックについてさまざまな視点を浮き彫りにするもので、短い期間でこれだけのものを完成できること自体が素晴らしいことです。また、トピックも媒体の種類も異なる他の制作班の作品を相互に見ることで得るものが大きかったのではないかと思います。最初の回にお伝えしたように、他の授業とは異なり、あえて毎回ノープランにして皆さんの主体性に委ねて授業を進めました。こちらの期待を上回る勢いで楽しみながら取材や制作に取り組んでいる様子を見ていて、とても嬉しかったです。相手に何をどのように伝えるのかを真剣に考えた経験はきっとどこかで活きてと思いますので、自信を持って色々なことに取り組んでみてもらえればと思います。
社会科学におけるデータと数理	林 篤裕	線形代数の面白みは感じてもらえたのではないかと感じている。今年度の経験を元に、次年度の授業を改良する予定である。
データに基づく地域創生	林 篤裕	少人数だったので個々人に対応した進行ができたと感じている。今後とも興味を持ってもらえるように工夫を凝らす予定である。
データ時代の女性キャリア開発	竹内 光悦 板倉 文彦	回答数がやや少ないのは残念でしたが、回答からみると有益な授業になったように見えたので、ほっとしています。これからも頑張ってください。
シリアスゲーム・デザイン演習	標葉 靖子	皆さんが取り組んだシリアスゲームデザインのプロセス（調査、観察/共感、問題定義、アイデア創出、プロトタイピング、検証等）には、複雑な問題がさまざまに絡み合う社会課題を構造的にとらえるためのシステム思考やデザインプロセスにおける包摂や多様性の重要性を意識できるようになるためのポイントが含まれていました。今回授業で扱ったテーマ（科学技術と社会）はもちろんのこと、その他の課題に関しても関心を持ち続け、その問題に取り組むための視座を持ち続けてもらえればと思います。
社会科学におけるWebデータ収集技術論 水曜配信（渋谷）	今田 一希	アンケートへのご回答ありがとうございました。 シラバスとの整合性や資料・説明については概ね肯定的に評価いただきましたが、「理解できた」「成長を実感できた」との回答が控えめであった点は重く受け止めています。 本講義は、Rの操作だけでなく、Webデータの性質を見極め、利用規約や著作権、サーバ負荷などに配慮しながら活用する判断力を身につけることを目的としています。 その分、内容が難しく感じられた部分もあったと思います。 技術は手を動かす時間によって定着しますので、ぜひ復習も続けてみてください。いただいたご意見は今後の授業改善に活かしていきます。
共創デザイン論	佐倉 統	おおむね好評なので安心しました。 双方向性についてはかなり工夫したつもりでしたが、全員から「とてもよくあてはまる」をいただけなかったのが、さらに工夫を重ねていきたいと思えます。
演習 I	井上 綾野	ディベートやキャリア形成など、様々な形での演習に積極的に取り組んでいたところがとてもよかったです。ここで学んだことを次年度の学びに活かしてください。
演習 I	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の授業展開の参考とさせていただきます。
演習 I	初見 康行	本講義では「業界・企業研究」をテーマに、企業を比較する際の視点や手法を学ぶことができました。 座学中心の講義でしたが、「企業そのものに対する興味が深まった」、「企業の比較の方法を身につけることができた」などのコメントがありました。 ぜひ将来の就職活動にも活かしていただければ嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.31でした。 また、「11. 成長実感」が4.31、「13. この分野をさらに学びたい」が3.77、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.38でした。 回答ありがとうございました。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習 I	広井 多鶴子	「LGBTに対する見方を考え直すことができてよかった」 「LGBTQ+についての理解が深まった」といった感想が多く寄せられました。また、グループワークやプレゼンを通して、問題解決能力が身に付いたといった感想もかなりありました。とても嬉しく思います。 今回の授業はレインボーWeekのイベントを企画したり、4ゼミ合同の授業を行ったりと、私にとってもチャレンジングな授業でしたが、みなさんグループワークに積極的にグループワークに取り組んでくれたことがとても良かったですと思います。文章を書くレッスンをもう少し取り入れればよかったというのが反省点です。
演習 I	富田 望	期末レポートや課題解決型学習のレポートを読んで、文章を書く力が着実に身につけているように思いました。アンケートをみると、ディベートのワークが好評だったことも大変嬉しく思いました。次年度の演習でも、楽しむ気持ちをもって引き続き頑張ってくださいね。
演習 I	駒谷 真美	この講義の前半は、1年次が学科選択の時期であるゆえ、学科で学びたいことについて、mind map・文献リスト作成・文献研究・プレゼンを行った。履修生は、個々の興味関心を学術的視点で捉えるようになり、学科選択の契機になっていた。 後半は、グループワークでPBLを実施した。大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の応援プロジェクトをOODAループの方略で行った。1年生には高度な内容であったが、履修生は積極的に取り組み、Z世代の斬新な企画を出していた。履修生たちは、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、講義外でもディスカッションを深めて、高め合っていた。
演習 I	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
演習 I	筒井 晴香	アンケートへの回答ありがとうございます。 この授業ではグループ活動でPBLに取り組んでいただきました。テーマの「性の多様性」に関する知識・理解や、グループワークへの取り組みに関して、やりがいや成長を感じてもらえたのではないかと思います。来年度以降の学修の中でも、ぜひ今回の経験を活かしてください。
演習 I	今田 一希	今回の演習 I では、「性の多様性」を出発点にしながら、より広く「多様性と共生」というテーマについて考え、調査・分析・提案までを行いました。グループによるPBL形式で進めたため、グループの組み替えや調査・制作など、あるいはテーマ自体の扱いで大変だったと感じた人もいたと思います。 アンケート結果を見ると、「意欲的に取り組めた」「成長を実感できた」と答えてくれた人が多く、総合的な満足度も高い結果となりました。最終発表や提出されたポスター・課題からも、それぞれが真剣に取り組む、自分なりに考えを深めていたことが伝わってきました。 今回扱った課題解決のプロセスは、問題を発見し、調査し、構造を考え、提案にまとめるという一つの方法にすぎません。しかし、そのプロセスを実際に体験したこと自体が大きな学びです。多様性の問題は一つの正解があるものではありませんが、構造的に考え、他者と協働しながら提案を形にする経験は、今後の学修や将来の活動にも必ず生きてくるはずですよ。 今回の経験を、ぜひ今後の学びにつなげてください。
演習 I	田中 瑛	この授業では「多様な性」のあり方について課題を発見し、解決策を提案するまでの一連のグループワークのプロセスを体験しました。どの班も広がりが見通せる素晴らしい提案に漕ぎ着けたと思いますし、ショート動画でのプレゼンテーションもとても素敵なものになりました。 アンケートではジェンダーについての理解が深まったという声が多く聞かれました。自分自身の意見を他の人と共有し、他の人の意見に耳を傾けながらより良いものを作り上げていく経験は、今後も授業を楽しんで受講する上で重要になると思いますので、自信をつけていってもらえれば嬉しいです。
演習 I	佐倉 統	おおむね好評なので安心しました。 グループワークにおいて、グループの評価と個々人の評価の関係について、さらに工夫が必要と感じています。いただいた意見を参考に来年度はさらに改良していきたいと思っています。
演習 I	筒井 晴香	アンケートへの回答ありがとうございます。 この授業ではグループ活動でPBLに取り組んでいただきました。テーマの「性の多様性」に関する知識・理解や、グループワークへの取り組みに関して、やりがいや成長を感じてもらえたのではないかと思います。来年度以降の学修の中でも、ぜひ今回の経験を活かしてください。
演習 I	板倉 文彦	本科目の評価は、当該区分平均を上回ることが出来ました。 授業では講義に加えてグループワークを実施してきましたが、学生の皆さんが積極的に参加され、その結果が評価につながったと思われます。 本科目は基礎ゼミに位置付けられていますので、学生の皆さんにはぜひこの授業を生かしていって頂ければと思います。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理学概論	坊 隆史	アンケートのご回答をありがとうございます。 大教室・大人数の必修科目ということもあり、多様な学びに興味をもつ皆さんに心理学という学問を知っていただくことを目指して授業を進めました。心理学に興味のある方もそうでない方も人間社会学を学ぶ学生として心理学の基本をpushさえたうえで専門分野を深めてほしいと願っています。 また、「声が聞きとりにくかった」「映写スライドが見えにくかった」という回答や記述が何点かみられました。毎年少しずつ改善していますが限界もあります。教室前方は座席にかなりの余裕がありました。もし聞こえない、見えないようでしたら教室後ろ半分に固まらずに自らの判断で前方に着席いただくと良いかと思えます。個人差が大きい要望は全てに沿いきれないこともありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
コミュニケーション概論	田中 瑛	この授業では、日常的なコミュニケーションにおいて生じる問題や現象を一步引いた視点から見るための理論や概念を学びました。他の人のコメントを見聞きしながら自分の考えを深めていくことが有意義だったという声が多く聞かれましたが、まさに対話を通して意見を洗練していく経験をこれからも積み重ねていってもらえれば嬉しいです。 また、論述テストは授業で学んだ概念を応用する思考力を問いましたが、多くの学生が基準をしっかりと満たしていました。「難しかった」との声も聞かれましたが、全体的に見ると、クリティカルに日常生活における問題を読み解く力は着実に身に付いていると思えますので、自信を持ってもらえれば大丈夫かと思えます。
社会学概論	原田 謙	成績評価はBが最も多く、続いてA、C、+Aの順になりました。授業内での皆さんのレスポンスでの回答は、授業の進行上でも大変有意義でした。2年次以降の演習や講義でも、社会学的なアプローチを活用してください。
法律学概論	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の授業展開の参考とさせていただきます。
ジェンダー論	山根 純佳	板書やパワポの作成についてよりわかりやすく伝わるよう工夫したい。
経済学概論	角本 伸晃	当該科目は、経済学の基礎理論を学ぶ科目なので、数式や計算が登場し、私立文系学生にとっては毎年難しいとの声が聞かれます。 その結果、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」では4.05と当該区分平均4.43を下回りました。 しかし、社会に出たときに経済メカニズムがわからないと経済面で不利な状況に置かれるので、教える項目を減らしたり、レベルを下げることはせず、より分かりやすいように工夫をしたいと思えます。
経営学概論	篠崎 香織	半年間お疲れ様でした。 今年度は、取り上げるケースが飲食寄りだったので、サービス業も含めて再検討していきます。 「経営」は、組織マネジメントに通じていくので、就職先が企業でなくても(役所、学校など)、複数の人が同じ目的を持って協働するところに身を置く場合は、知っているの良い知恵がたくさんあります。ぜひ、引き続き経営系の科目を履修していくことをお勧めします。
簿記論Ⅱ	蔦 飛鴻	履修者102名のうち、33名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は4.67と高くなっています。今後も良い講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
簿記論Ⅱ	小澤 康裕	昨年よりも良い結果を得られたようです。引き続きより良い授業になるように努力します。
キャリア・マネジメント論 水曜配信(渋谷)	初見 康行	本講義では「キャリア・マネジメント」をテーマに、社会の変化やキャリア理論、女性のキャリア開発を学んできました。 オンデマンドの講義でしたが、「自分のキャリアについて改めて考えることができた。学校生活やバイトでも目的をもって行うという意識がついた」、「オンデマンドの授業だが、アンケートにより他の受講者の意見や考えも共有してくださったので受講しやすかった」などのコメントがありました。 ぜひ自分のキャリアに関心を持ち続けてもらえれば嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.80でした。 また、「11. 成長実感」が4.67、「13. この分野をさらに学びたい」が4.65、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.65でした。 多くの学生が意欲的に学んでくれたようで良かったです。 改善点として、より双方向的な講義をして欲しいという要望がありました。今後改善していきたいと思えます。皆さん回答ありがとうございます。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
実践デザインラボ I	標葉 靖子	授業では、イノベーションや社会的課題解決が求められている分野・現場で実際に活用されているデザイン思考やシステム思考などのフレーム・技法を知り、体験することを重視しました。またアイデアを社会に実装していくにあたって求められる視点についても必ず取り入れるようにしています。自らのアイデアを社会で実現していくためには、段階的により多くのステークホルダーを巻き込んでいく必要があります。本授業で扱った枠組みや考え方はそうした場面で必ず役立つと思いますので、忘れずに日頃から実践していただくください。
リーダーシップ開発 a	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
社会と統計	竹内 光悦	必修である以上、受講者人数が多く、全員が満足できる授業レベルにすることは簡単なことではないと思いますが、コメントを見ますとおおむねポジティブな意見でしたがそうでないものには残念に感じました。生成 AI の活用も含めて、次年度への新しい授業の構築を検討したいと思います。
社会と統計	竹内 光悦	おおむねポジティブな感想であり、今後の参考にします。2年生以降も調査・データ分析系の授業は続きますので、よろしくお願いします。
社会調査方法論 木曜配信 (渋谷)	原田 謙	成績評価はBが最も多く、続いてA、C、+Aの順になりました。今後のゼミや卒業研究で、ぜひ社会調査方法論で学んだ内容を活かしてください。
プログラミング基礎 金曜配信 (渋谷)	今田 一希	今回の授業アンケートへのご協力ありがとうございました。 履修理由として「内容に興味があった」と回答の方が多く、主体的な姿勢で受講していただいたことを大変嬉しく思います。 資料の分かりやすさや双方向的な工夫については比較的高い評価をいただきました。一方で、授業の進むスピードや理解度についてはばらつきが見られました。この点は今後の改善課題として受け止め、解説の丁寧さや演習時間の確保などを工夫し、より成長を実感できる授業を目指していきます。 プログラミングは一度で完全に理解できるものではなく、繰り返し手を動かすことで徐々に力が身についていくものです。また、プログラミングをはじめとする技術は、「何かに役立ててみる」ことで初めてその有用性を実感できます。ぜひ皆さんの趣味や学習の中で、活用できる場面がないか考えてみてください。 皆さんが身につけた「物事を一般化して考える力」は、今後の学習や社会生活の中でも必ず役立ちます。引き続き積極的に挑戦してください。
英語コミュニケーション I a 土曜配信 (渋谷)	時田 朋子	今期からオンデマンド形式の授業となり、学習における時間管理が難しかった方もいらしたようです。来年度も日本人教員の英語コミュニケーションの授業はオンデマンドですので、うまく進められるように工夫してください。英語は、グローバルなコミュニケーションに必須です。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。授業外でも英語に積極的に触れるように心がけてください。
英語コミュニケーション I a 土曜配信 (渋谷)	阿佐美 敦子	履修者中、半数に足りない回答であることが残念でしたが、その全員から「この授業を通じて自身の成長を実感できた」87.5%、「この科目(分野・系)をもっと学びたいと思った」87.5%、「総合的にこの授業に満足した」87.5%、「この授業に意欲的に取り組んだ」100%が「あてはまる」との回答であることを喜ばしく思います。2年次も必修の英語科目は続きますが、自学習等で英語力を維持+αを目指すほか、他の英語科目も履修して継続的に学んでいただきたいです。
英語コミュニケーション I a 土曜配信 (渋谷)	阿佐美 敦子	履修者中、半数のみの回答であることが残念でしたが、その全員から「この授業を通じて自身の成長を実感できた」90%、「この科目(分野・系)をもっと学びたいと思った」70%、「総合的にこの授業に満足した」100%、「この授業に意欲的に取り組んだ」90%が「あてはまる」との回答であることを喜ばしく思います。2年次も英語の必修科目はありますが、自学習等で英語力をアップするほか、何か別の英語選択科目を履修して継続的に学んでいただきたいです。
演習 II b	板倉 文彦	授業評価は、総合的に当該区分平均を下回ってしまいました。フリーコメントでは、グループワークを通してスキルを得られたとの感想を多くもらっていますが、評点が平均に満たないところは反省点と捉えています。次年度は特に授業スピードや解説に重点を置いて改善していきたいと思ます。
演習 II b	林 篤裕	取り扱い話題の決定に苦慮したが、学生にとって馴染みのある話題を提供できたので、親しみを持って取り組んでもらえたと感じている。今後とも工夫して運営していこうと考えている。

〔2025（後期）人間社会学科 現代社会学科〕 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅱ b	佐倉 統	おおむね好評なので安心しました。グループワークにおいて、グループの評価と個々人の評価の関係について、さらに工夫が必要と感じています。いただいた意見を参考に来年度はさらに改良していきたいと思います。
演習Ⅱ b	標葉 靖子	入門書ではありませんでしたが、事前に作成した読書ノートをもとにグループでディスカッションしていく講読は、学術書を丁寧に読み解き、自らの意見を論理的かつ解像度高く明かにしていく良い練習になるものです。普段馴染みのない分野（本演習の場合は「生命倫理」）だったかもしれませんが、皆さんの視野を広げると共に、広く「読む」「対話する」力の涵養になっていることを期待します。
演習Ⅱ b	坊 隆史	アンケートの回答をありがとうございました。今年は企業さんとのPBLを2回実施できるという幸運に恵まれました。その結果、アンケート結果も同分野の授業平均と比べると高い評価をいただくことができて嬉しく感じています。4月以降はいよいよ演習Ⅲが始まります。演習Ⅱで身につけた基礎力を、3年生以降の専門的な学びに活かせることを願っています。
演習Ⅱ b	竹内 美香	人間社会学科への進級を選択した皆様の後期を担当させていただきました。担当者の竹内(美)、夏季に大きな治療を受けて後期復帰しての科目担当でしたので、学科主任の高橋美和先生に多大なサポートを頂くこととなりました。高橋先生と、状況を寛容に受け入れ、取り組みを続けてくださった学生の皆さんには、感謝の言葉もありません。 ・・・とはいえ、本学部ではとても珍しい「複数の担当教員で演習」を実施する形態は、学生の皆様にとっても学んでいただけることの多い貴重な経験になったのではないのでしょうか。 これはひとえに、お忙しい中でも学生さんたちを支援することを大切にしてくださいと高橋先生のお志によります。竹内(美)は、高橋先生と、そしてクラスの学生の皆さんと協働できる水曜日の4限が、毎週楽しみでした。 この演習では、個別に課題を調べて情報収集し、班のメンバーで持ち寄って「人に教える」ほどのレベルのプレゼンに仕立てる、人にわかるように説明する、他の班の取り組みから学ぶ過程を経験していただきました。半期間の短い中で、体験して身につけられたスキルはそれぞれの皆さんの大きな糧になると信じています。 グループワーク主体の演習です。参加すること、協働すること、学びを共有して総括することは重要です。 体調を崩して、よく参加できなかった方もあるかもしれませんが、次年度以降、どうか自己管理も大切な「仕事」と心得て、さらに努力を積み重ねてください。きっと幸せになれるます。
演習Ⅱ b	粟津 俊二	総合的な満足度が4.8と高いため、授業運営に問題はなかったと判断します。
演習Ⅱ b	原田 謙	自分自身でテーマを決めて、資料収集を行い、発表することで、各自が成長と今後の課題を感じる事ができたようです。3年次以降に、この演習で学んだ方法等を活かしてください。
演習Ⅱ b	山根 純佳	説明がわかりやすかったか、という問いへの回答にばらつきがあったので、よりわかりやすい授業を心がけたい。
演習Ⅱ b	初見 康行	本講義では「業界・企業研究」をテーマに、企業を比較する際の視点や手法を学んできました。 座学中心の講義でしたが、「色々な企業を比較することで外面だけではなく内面のことも知ることができた」、「企業分析する力が身についた」などのコメントがありました。 ぜひ将来の就職活動にも活かしていってもらえれば嬉しいです。 最終的に「15. 総合的な満足度」の評価は4.89でした。また、「11. 成長実感」が4.78、「13. この分野をさらに学びたい」が4.67、「16. 意欲的に取り組んだ程度」が4.78でした。 回答ありがとうございました。
演習Ⅱ b	蔭 飛鴻	履修者25名のうち、7名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は4.57となっております。履修者全員に満足できるような講義が継続できるよう、今後、随時講義内容の見直しをしていきたいと考えております。ご回答をどうもありがとうございました。

【2025（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅱ b	神山 静香	アンケートにご協力いただきありがとうございました。すべての項目において肯定的な評価をいただき、感謝申し上げます。とりわけ「双方向授業の工夫等」や「授業への意欲的な取り組み」の項目の評価が高く、大変嬉しく思っております。評価いただいた「プレゼンテーション力や調査力の向上」「質問のしやすい雰囲気」という強みを継続しつつ、今後は修得した知識を将来に向けて具体的に活用する方法を提示することで、さらに探求心を深め、学生の皆様により一層意欲的に授業に取り組んでいただけるよう、授業構成や内容の充実を図ってまいります。
演習Ⅱ b	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の授業展開の参考とさせていただきます。
異文化理解	時田 朋子 阿佐美 敦子	授業ではカナダを中心に学びましたが、日本について検討する機会になりましたね。グローバル化が進む現在、異文化を理解する力は非常に重要です。授業で学んだ視点を生かして、異文化と出会い、異文化との関わりを深めてください。（時田朋子） アンケートに回答くださったのが、24名の履修者の内、4名のみで残念でしたが、その皆さんが「この授業を通して自身の成長を実感できた」と答えていることを、とても嬉しく思います。広範囲な国々の価値観をご紹介します。特に毎回のケーススタディで学んだ内容は、将来に役立つと期待しています。（阿佐美敦子）
アントレプレナーシップ演習	児玉 充	PBLの実施も含め受講生の皆さんにとってより興味深いコンテンツを提供できるように努めます。
調査・実験データ処理法 水曜配信（渋谷）	竹内 光悦	おつかれさまでした。おおむね好意的な意見でしたので、ほっとしています。Excel に関する授業もいろいろありますので、これからも活用してください。
英語コミュニケーションⅢ a	阿佐美 敦子	履修者中、半数のみの回答であることが残念でしたが、その全員から「この授業を通じて自身の成長を実感できた」92.9%、「この科目(分野・系)をもっと学びたいと思った」92.9%、「総合的にこの授業に満足した」100%、「この授業に意欲的に取り組んだ」92.9%が「あてはまる」との回答であることを喜ばしく思います。3年次も自学習等で英語力を維持するほか、何か英語科目を履修して継続的に学んでいただきたいです。
英語コミュニケーションⅢ a	時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたでしょうか。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきています。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。共通教育の英語の授業を受講したり、TOEICを受け続けたりしましょう。
英語コミュニケーションⅢ a	富倉 敦子	学生の皆さん 今学期お疲れ様でした。また授業についての貴重なご意見ありがとうございます。これらを参考にしながら、今後も皆さんが授業や課題にスムーズに取り組めるよう工夫を重ねながら、皆さんにとって英語学習がより有意義なものになるよう、努力していきたいと思っております。Good luck on your English studies!
英語コミュニケーションⅢ a	阿佐美 敦子	履修者中、半数のみの回答であることが残念でしたが、その全員から「この授業を通じて自身の成長を実感できた」87.5%、「この科目(分野・系)をもっと学びたいと思った」87.5%、「総合的にこの授業に満足した」87.5%、「この授業に意欲的に取り組んだ」100%が「あてはまる」との回答であることを喜ばしく思います。3年次も自学習等で英語力を維持するほか、何か英語科目を履修して継続的に学んでいただきたいです。
英語コミュニケーションⅢ a	時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけたでしょうか。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきています。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。共通教育の英語の授業を受講したり、TOEICを受け続けたりしましょう。
英語コミュニケーションⅢ a	長谷川 奈緒美	授業評価アンケートおよびmanaba内のやり取りからの意見から、授業内容への興味関心や満足度については概ね高い評価を得られました。オンデマンド形態による授業でしたが、大部分の学生さんが積極的に小テストやテキスト演習に取り組む姿勢を感じることができました。ありがとうございました。毎週の語彙テストの継続的な実施、テキスト本文の語彙・文法・内容解説、TOEICテストの取り組み方や攻略・解説などが、自分の自主学習に役立ったとの感想を多くいただきました。少しずつ自信を持って英語学習に取り組むことができるようになったこと、とても嬉しく思っています。今後の授業運営については、より多くの音読の機会を設けるなど、英語音声に目を向けた授業形態を取り入れることも検討しています。今後も、復習と繰り返し練習を大切にしながら、自分のTOEICテスト目標スコアや自己目標の達成に向けて学習を続けてください。みなさんの今後の活躍に期待しています！

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅢb	オーラ, ベン	The survey results were positive, which was good to see. I will do my best to improve the parts of the course that did not meet students' expectations.
心理実習	竹内 美香 粟津 俊二 富田 望 坊 隆史	アンケートの回答をありがとうございました。 本科目は公認心理師カリキュラムの総まとめの位置づけの実習科目でした。拘束時間が長く、課題量も多い中、実習生が力を合わせて1年間頑張ってくれていました。自由記述で「自分の価値観や視野が広がった。大変さ以上に価値のある学びになった」というコメントがあったように、教員一同が期待する学びを得られたように思います。 皆さんの回答を次年度以降の心理実習にも活用していきます。本当にお疲れさまでした。
精神疾患とその治療 月曜配信 (渋谷)	塩川 宏郷	公認心理師を目指す学生さんには必須の知識ですが、日常生活におけるストレスや心身症、高齢化にともなう認知症など一般の学生さんにとっても重要な基礎知識を学びました。資料は将来的にも参照する機会があると思いますので、折に触れて復習するようにしてください。
広告・PR論	井上 綾野	広告分野における激しい変化を、理論的にも・実践的にもとてもよく理解できていたと思います。
社会システム論	篠崎 香織	前半の企画もの、中盤から後半にかけてのグループディスカッションやプレゼンなど、信頼も含めて、「意味」でつないでいくことを意識して取り組んでもらうことができたと思います。 ぜひ今回獲得した「視点」を、一つのモノの見方として活用してください。
社会調査実習Ⅱ	竹内 光悦	前期から続く、この社会調査実習ですが、お疲れさまでした。おおむね実力もついたのでしたのでよかったですと思います。次年度は卒論がありますので、調査をする／しないに限らず、一つに根拠を持って伝えることを覚えていてください。
ソーシャル・マーケティング・プロジェクト	井上 綾野	企業の意思決定を行うことは難しかったかもしれませんが、各グループで試行錯誤し、課題をグループ内で何度も検討していることは大変良かったと思います。
演習ⅢB	阿佐美 敦子	履修者10名中、5名のみのお返事であることが残念でしたが、その全員から「この授業を通じて自身の成長を実感できた」「この科目(分野・系)をもっと学びたいと思った」「総合的にこの授業に満足した」「この授業に意欲的に取り組んだ」との項目に対して「とてもよくあてはまる」として100%のお返事を得られたことを喜ばしく思います。今期は英語でのプレゼンテーションや質疑応答、フリートークなど多くあり、大変だったでしょうが、楽しく頑張ってください嬉しかったです。
演習ⅢB	粟津 俊二	総合的な満足度が4.8と高いため、授業運営に問題はなかったと判断します。
演習ⅢB	井上 綾野	他大学とのゼミ等、さまざまな活動に積極的に取り組んでいて、大変良かったと思います。特に、卒業論文発表会での質疑応答に、1年間の成長が見られましたね。
演習ⅢB	角本 伸晃	この授業では石川県和倉温泉や丹波篠山と社会連携をしたり、常磐祭に出店したり、外部コンテストに出たりと、いろいろと取り組んで、ゼミ生も大変だったと思います。 「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は4.71と高く評価されました。来年度も頑張りたいと思います。
演習ⅢB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の授業展開の参考とさせていただきます。
演習ⅢB	神山 静香	アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。説明のわかりやすさ、双方向授業等の工夫、配布資料のわかりやすさ、全体的な満足度等、すべての項目で肯定的な評価をいただき感謝申し上げます。とりわけ、自身の成長の実感や授業への意欲的な取り組みの項目について、評価が高いことを大変嬉しく思います。今後も評価いただいた取り組みを継続するとともに、修得した知識や思考力を将来にどう活かせるかをより具体的に提示し、学生の皆様が主体的に探究心を深められるよう、授業内容のさらなる充実を図ってまいります。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	駒谷 真美	<p>全体的にゼミ生は、4月当初から個人の卒論活動・グループでのラジオ番組制作活動、ともにかなり意欲的に進めてきた。</p> <p>個々の卒論活動では、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したことで、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながっている。</p> <p>グループとして大学公認ラジオ番組「JJラジオ1」の活動においては、月毎の担当グループが、メインパーソナリティとして、工夫しながらベストを尽くしている。取材も学研のフェスティバルからGMOの社食・渋谷の敬能事務所・下田歌子記念女性総合研究所シンポジウムまで、多岐にわたり意欲的に活躍した。メディアゼミの一員として、番組公式インスタの多角的な展開やJJ Timesの執筆、常盤祭ではパネル展示や動画紹介し、更なる高みを目指して奮闘していた。</p>
演習ⅢB	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。
演習ⅢB	篠崎 香織	<p>ゼミの時間をどう活用するかを考える期間になったと思います。</p> <p>戦略の枠組みを学習した前期、それを後期で活用できたかどうか、いま一度このゼミの中で何をしたいのかを検討しておいてください。</p>
演習ⅢB	蔣 飛鴻	履修者11名のうち、1名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は5.00と高くなっています。今後も良い講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習ⅢB	高橋 美和	<p>前期のゼミ活動で皆さん相互に仲良しになり、よい雰囲気の後期のゼミができました。後半の発表が、ちょっとしんどかったかもしれませんが。アンケートの数値でも、「進捗のスピード」への満足度が低い結果となりました。もう少しスケジュールを緻密に立てた方がよかったですね。お詫び申し上げます。とはいえ、みなさん、きっちり発表時には間に合わせてよい発表をしていました。来年度はいよいよ卒業研究ですね。ゼミという協働によって相互に高みを目指しましょう。</p>
演習ⅢB	竹内 光悦	おつかれさま。3年の専門ゼミはどうか？次は4年生ですね。引き続き頑張りましょう。
演習ⅢB	竹内 美香	<p>後期は卒業研究のテーマにつなぐために、先行研究論文を精査的に読み込み、調査計画を具体的に考えることに取り組みました。</p> <p>次年度の卒業研究のテーマを決めることを意識した後期でしたが、実は研究テーマを決めることほど難しい課題はありません。「どこかに卒業論文テーマを売っているお店や自動販売機はないのか」と思う程です。</p> <p>大学アカデミズムの作法は、先行研究を渉猟し、自身の問題意識を掘り下げ、現実味のある調査テーマを選択して絞り込み、実施の手続きを現実的に構築することで。</p> <p>皆さん、ご自身の現時点での研鑽は充分ですか？</p> <p>実際の取り組みはこれからです。</p> <p>新任の先生とご一緒に、2025年度に体得した研究スキルを活かして、有意義な卒業研究に取り組んでください。</p> <p>何が大切って、健康ほど大切なものはありません!!</p> <p>どうかお幸せに。</p>
演習ⅢB	時田 朋子	後期はプロジェクトを中心とした授業でした。いかがでしたか。大変なこともありましたが、大きく成長できましたね。4年生では卒論に取り組みます。引き続き頑張りましょう。
演習ⅢB	富田 望	卒論のテーマ決めに加え、ストレスマネジメントセミナーの企画運営、学会参加と、盛りだくさんな時間でしたね。アンケートでは、セミナーの運営について学びが多かったという意見をいただき、とても嬉しく思いました。皆さん着実に力をつけていますので、この調子で頑張ってください！
演習ⅢB	初見 康行	<p>演習ⅢBでは、「女性の仕事・働く」をテーマにゼミ運営をしてきました。</p> <p>講義の前半では夏季休業中に参加したインターンシップの成果発表を行い、後半は個人発表、ゲストスピーカー、4年生の卒論発表会にも参加しました。</p> <p>来年度は皆さん自身が卒業論文を書く番になります。</p> <p>就職活動と卒業研究で忙しくなるとは思いますが、悔いのない大学生活を送るために頑張ってください。</p>
演習ⅢB	原田 謙	後期は、各自のフィールド&テーマに基づいてゼミ論文が作成できました。春休みに卒業研究の計画を立てましょう。
演習ⅢB	広井 多鶴子	「成長が実感できた」という設問に全員が当てはまると答えていました。とても嬉しく思います。今年の3年のゼミは発表・プレゼンだけでなく企画を考えたりしたことが良かったのかもしれませんが。論文のテーマについても視点が面白く、今後が期待されます。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	坊 隆史	アンケートの回答をありがとうございました。 今年は学外活動を中心に展開してきました。皆さんが楽しみながら高い出席率を保つことができていたように思います。実際に良い成果物が完成して、学内外から好評をいただいています。お疲れさまでした。 一方でアンケート評価は、区分平均を下回る項目が多い結果となりました。おそらく、予定が立たない、予定を変更せざるを得ないことがあって皆さんを振り回してしまったことに対する評価として受け止めています。次年度以降のゼミ運営の参考とします。ご意見ありがとうございました。
演習ⅢB	山根 純佳	授業の理解度について、よりわかりやすく理解できる授業を心がけたい。
演習ⅢB	吉田 雅彦	NHKニュースから経済や社会を学びました。 個人面談で、キャリアについて考えることができました。 レポートの書き方を習得できました。
演習ⅣB	阿佐美 敦子	履修者12名中、4名のみのお返事であることが残念でしたが、その全員から「この授業を通じて自身の成長を実感できた」「この科目(分野・系)をもっと学びたいと思った」「総合的にこの授業に満足した」「この授業に意欲的に取り組んだ」との項目に対して「とてもよくあてはまる」として100%のお返事を得られたことを喜ばしく思います。今年も皆、さらにもう一歩の努力と工夫をして、良い卒論を書いたくださって、私の誇りです。
演習ⅣB	粟津 俊二	回答者が0でした。問題があれば直接言ってくれと思っています。
演習ⅣB	井上 綾野	卒論の執筆は大変だったかもしれませんが、それぞれの取り組みは素晴らしかったです。
演習ⅣB	角本 伸晃	例年、アンケートの回収率が非常に低いのですが、今年は3人でした。 「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.67でした。 ゼミ生全員、卒論を完成させ、就職も決まり、良かったと思います。
演習ⅣB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございました。 今後の授業展開の参考とさせていただきます。
演習ⅣB	神山 静香	アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。説明のわかりやすさ、双方向授業等の工夫、配布資料のわかりやすさ、全体的な満足度等、すべての項目で高い評価をいただき感謝申し上げます。とりわけ、成長の実感や授業への意欲的な取り組みの点で高い評価をいただいたこと、さらには、論理的思考力の向上や将来に役立つ深い学びの実践という点を評価する意見をいただいたことを大変嬉しく受け止めております。評価いただいた取り組みを継続するとともに「難解だった」との意見も踏まえ、学んだ知識が将来にどう結びつくかを具体的に提示し、学生の皆様がより主体的に探究心を深められるよう、内容の充実を図ってまいります。
演習ⅣB	駒谷 真美	4年後期は、就活と卒論の集大成の時期に当たる。今年の4年生も丁寧に準備をしてきて、果敢に挑戦した結果、それぞれに新しい道を見出せることができています。全員が卒論を早期に提出し、発表会も無事に終えられたことは、今後の自信につながると信じている。
演習ⅣB	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。
演習ⅣB	篠崎 香織	ゼミの2年間、本当によく頑張りました。 特に卒業論文の準備、執筆、発表に至るまではつらいこともたくさんあったと思います。ゼミの規模が大きく一人一人に十分な時間を配分できなかったのは反省点ですが、各自が興味のあるテーマを見つけ出し、研究方法を決定して、実施できたことは、今後の励みになると思っています。 これからも頑張っていきましょう！
演習ⅣB	蔣 飛鴻	履修者13名のうち、4名の回答がありました。総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は5.00と高くなっています。今後も良い講義を継続できればと思います。ご回答をどうもありがとうございました。
演習ⅣB	高橋 美和	みなさん、それぞれ、よくがんばりました。夏休みまでに調査を終えられなかった方々もいましたが、その後よく盛り返して、よい論文を書いたと思います。研究を通して、いままで知らなかった世界を見ることができた方、視野が広がった方もいたと思います。社会に出てからもきっと役立つ体験となったのではないのでしょうか。皆さんの今後の検討を心から祈ります。
演習ⅣB	竹内 光悦	卒業研究、お疲れさまでした。この経験を踏まえ、社会に出て頑張ってください。

[2025 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	竹内 美香	<p>卒業論文の執筆、成果報告の発表まで、お疲れさまでした。人間社会学部では、大学4年間の集大成になる大きな取り組みとして卒業研究に取り組み、大きな論文を執筆します。卒業論文は大学に長く残り、後輩も閲覧する大切な資料となります。卒業論文は、大学アカデミズムの本質が凝縮されています。先行研究を渉猟し、自身の問題意識を掘り下げ、現実味のある調査テーマを選択して絞り込み、データを収集して統計解析を行い、解析結果から過不足なく知見を取り出し、調査仮説の視点で検証考察します。入門者であれ、プロの研究者であれ、この工程は一段階も抜くことはありません。心理学研究における仮説は、私たちの生活そのものから生まれてきます。生活場面の疑問を「仮説演繹」によって客観的に検証し、理解するまでの手法、科学のアプローチを皆さんは体得しました。卒後の生活場面でも、この科学的アプローチのスキルを活かしてください。</p> <p>また、演習の取り組みで重視されるのは工程管理です。この点、一緒に重点課題として取り組みました。社会に出たら、ご自身で管理を行う場面が多くなると思います。今年度の取り組みはその点で如何でしたか？ 自己評価してみてください。</p> <p>25年度の担当教員は、大きな病気を抱えて「片肺飛行」のような状況になりました。ご心配をおかけしましたが、なんとか皆さんを「目的地」まで送り届けることができ安堵しています。</p> <p>これからもご自身の幸せを追究してください。</p>
演習ⅣB	時田 朋子	<p>頑張って卒論に取り組みました。達成感を得られたとのこと、とても嬉しく思っています。楽しくも大変な作業でしたが、大きく成長できました！</p>
演習ⅣB	富田 望	<p>卒業論文の提出、卒論発表会での発表と、大変なことも多かったと思いますが、皆さんよく頑張りましたね。2年間皆さんと勉強ができ、皆さんの成長を間近で見ることができて、私にとっても学びの多い時間となりました。ありがとうございました。</p>
演習ⅣB	初見 康行	<p>演習ⅣBでは卒論制作に取り組みました。</p> <p>皆さんが計画的に進めてくれたおかげで、全員が期限を守って提出することができました。</p> <p>また、多くのゼミ生がオリジナリティのあるテーマで書くことができ、質・量ともに充実した内容になったのではないかと思います。</p> <p>ゼミ生のみなさん、本当にお疲れさまでした。</p>
演習ⅣB	原田 謙	<p>ゼミ合宿も実施し、各自の卒業論文にもとづく発表を通じて、有意義な議論ができました。</p>
演習ⅣB	広井 多鶴子	<p>「自分の成長が実感できた」「総合的に満足した」「意欲的に取り組んだ」という設問に高い点がついていました。みなさんよく頑張ったと思います。文章を書く力は考える力。自信を持って社会に出てください。</p>
演習ⅣB	坊 隆史	<p>本学着任直後に担当したゼミということもあり、2年間試行錯誤しながら進めました。そのような環境でしたが全員がそれぞれの関心をテーマにした卒業論文を執筆することができて嬉しく感じています。心理学は生活全般に役立ちます。それぞれの進路で活躍されるにあたって、ゼミでの学びが活きることを願っています。</p>
演習ⅣB	山根 純佳	<p>声が聞き取りやすかったかという回答にばらつきがあったので、満足度を高めるように工夫したい</p>
演習ⅣB	吉田 雅彦	<p>卒論をとりまとめ、全員 発表することができました。</p>
心理演習	富田 望	<p>さまざまな事例について主体的に考え、カウンセリングのロールプレイや検査の演習を行ったりと、盛り沢山な時間だったのではないかと思います。事例への見立てやロールプレイの様子から、皆さんが着実に力を身につけているように思いました。また、私も皆さんと一緒に学ぶことができて楽しかったです。</p>